

9月5日のウクライナ情報

安齋育郎

●ウクライナ新国防相の背後にいるのは米国＝トルコメディア(2023年9月5日)

ウクライナのルステム・ウメロフ新国防相は、同地域におけるアメリカの計画の実行者である、とトルコ紙「Aydinlik」が情報筋の話を用いて伝えている。

これに先立ち、ウクライナのヴォロディミル・ゼレンスキー大統領は、オレクシー・レズニコフ国防相の辞任と、ルステム・ウメロフ国有財産基金総裁の国防相就任を発表した。その理由は、国防省の仕事において「新しいアプローチ」を生み出す必要があるからだという。両氏ともすでに現在の職からの辞任を申し出ている。

Aydinlik 紙の情報筋は、ウメロフ氏がアメリカと直接つながっていると主張し、ウクライナ国防省の新トップは外国から受け取った金を個人的な目的で使っていると報じている。さらに、公開情報によれば、ウメロフは米國務省の「未来のリーダーの交換(FLEX)」プログラムに参加したという。ウメロフ氏にはルスラン・ウメロフという兄がおり、彼らはキエフで「アメリカの子供たち」と呼ばれている、と同紙は強調している。

また、同紙は情報源を引用して、ルステム・ウメロフ氏はトルコで禁止されており、2016年の政権転覆の試みと関係があるとトルコ政府がみなしているギュレン運動(フェトウッラー・テロ組織またはFETÖ)と関係があるとも報じている。また、ウメロフ氏は、2014年にクリミアがロシアに併合される以前、クリミアの全寮制英才学校で学んでいたことが知られている。その学校は、ギュレン運動の支援を受けていたウクライナ教育省が開設したものである。

戦時中の交代劇、その理由は？

2021年11月から現職にあったレズニコフ国防相の解任は、キエフの軍関係者の上層部の中にある対立を表しているものであり、それはウクライナの反抗作戦が失敗に終わったタイミングで露呈していると、メキシコ国立自治大学(UNAM)の学者で、中東の地政学と現代の国際紛争の専門家であるアレハンドロ・サルゴ・バレンシア氏は、スポーツニクに語った。

「反転攻勢の失敗に直面して、ゼレンスキーはますます猜疑心を強めており、今すでに首を切ることを好み、皆を監視しているというメッセージを送っている(中略)なぜなら、今の軍部エリート内ではすでに分裂が始まっているからだ。(それは交渉による和平を求める人々と、ウクライナ人の最後まで紛争を継続させたい人々との間で起こっている)」

バレンシア氏は、ウクライナの反転攻勢は「完全な失敗」であり、3か月の間に数千人の命を犠牲にしても、おそらく数キロしか奪還できなかったとみている。

同氏はまた、ウクライナ国防省の再編成はアメリカの指示によるものだと強調している。2022年2月の紛争開始以来、キエフに最も多くの資金と軍事資源を割り当てているのはアメリカなのだ。アメリカはまた、ウクライナ軍の多くの人命が失われているにもかかわらず、紛争の継続を主張している。

国家安全保障と防衛政策の専門家、パリの政治研究所の博士課程に在籍するハビエル・オリバ・ポサダス氏は、軍事政治的な観点からすれば、レズニコフ国防相の解任は、最近明らかになった賄賂騒動を受けて、ウクライナが自国軍の中でのスキャンダルの渦中であることを意味していると言う。

「最近、ウクライナの徴兵センターの中堅指揮官数人が、「影響力の販売」や汚職の事例を隠蔽したという理由で解任された。レズニコフの解任は、ウクライナ軍の管理・後方軍事エリートレベルの非常に深刻な問題の集大成であるように私には思える。最も明白かつ最も危機的な瞬間であると言うこと

ができる」



●上院か、それとも特権のある老人ホームか 米国の指導者層の世代交代を求める声 がますます高まる(2023年9月5日)

アメリカの政治家の多くは、高齢で健康上の問題を抱えているにもかかわらず、引退するつもりはない。しかし、米大統領選挙が迫った今、政府高官の地位に年齢制限を導入しようという声が高まっている、とドイツのテレビ局「Das Erste」は報じている。共和党のニッキー・ハイリー候補は、75歳以上の候補者に能力テストを行うことを提唱している。

Das Ersteは、最近、共和党のミッチ・マコーネル上院院内総務が記者会見で、2026年に再出馬する予定があるかという質問に答えられなかったことを報じている。81歳の上院議員であるマコーネルは質問に答えるどころか、どこかを見つめるように固まってしまった。補佐官が大声で質問を繰り返した。マコーネルが弱々しく「オーケー」と答えたのは、それからなんと40秒後のことだった。マコーネルのチームは後に、マコーネル氏が2023年3月にホテルで転倒して脳震盪を起こし、未だ回復の途上にあることが、この騒動の原因であると説明した。

マコーネルの同僚である民主党のダイアン・ファインスタインは、90歳にして上院の「レジェンド」だとDas Ersteは皮肉っている。長年、彼女は物忘れと集中力の欠如に悩まされてきた。審議では、彼女はしばしば伏し目がちになり、他の議員が、どのようにして投票するか教えている。

「上院は現在、この国で最も特権的な老人ホームだ！」共和党の大統領候補ニッキー・ハイリー氏は最近、このように宣言した。彼女は政府の要職に就く者に、年齢制限を設けることに断固賛成している。彼女の選挙キャンペーンは、77歳のドナルド・トランプと79歳のジョー・バイデンの両氏に対しても同様に行われている。報道によると、アメリカ人の大多数はハイリーに同意しているようだ。世論調査によれば、バイデンもトランプも、大統領職を続けるには年を取りすぎていると考えられている。

しかし、米国ではこうした「スーパーシニア」を支持する声もある。トランプもバイデンも高齢ではあるが、心身ともにまだ非常に健康だからだ。シカゴ大学の老年学者ジェイ・オルシャンスキ氏によれば、年齢制限やテストは高齢の政治家に対する不当な差別になるという。オルシャンスキ氏は、政治家は年齢ではなく、有権者を欺いた罪で起訴されるべきだと考えている。バージニア大学の政治学者カイル・コンディク氏もこれに同調し、大統領選挙では、候補者の年齢は決定的な要因にはならないと話している。なぜなら、国の政治リーダーになる人は、他に重要な資質を備えているべきだからである。

スポーツニクはこれより前、ドナルド・トランプ前米大統領が起訴されたことを背景に、彼にこれ以上選挙運動をしないように求める要求が増え始めたことを伝えた。



●「比類なき航空機」 中国がロシアの致命的爆撃機に感嘆(2023年9月5日)

「白鳥(ベールィ・レーベジ)」という優美な愛称で呼ばれるロシアの爆撃機 Tu-160 について、バイドゥ(百度)の個人向けメディアプラットフォーム「百家号(Baijiahao)」は、名とは打って変わって致死兵器だという記事を著した。

「外見に惑わされてはいけない。Tu-160 は長距離爆撃機としては地球上で最大で、40 年近く運用され、導入以来、世界記録を 40 回以上の塗り替えてきた」百家号はこう書いている。

百家号は、Tu-160 の長所を列挙している。例えば、最大搭載量は 45 トンで、米爆撃機 B2 爆撃機のほぼ 2 倍。さらに、Tu-160 には独立した爆弾倉が 2 つあり、通常爆弾、亜音速巡航ミサイル、核弾頭を搭載できる。

百家号が挙げる Tu-160 の見事な特徴は、超音速モードで敵の防空システムを突破し、レーダー範囲外に長距離ミサイルを発射する能力。

百家号は「重爆撃機(Tu-160)は、敵に『残忍な美しさ』とは何かを知らしめることができる」と強調し、これだけの爆撃機を製造できた国は、今まで他にないと書いている。



●ホワイトハウス ウクライナ向け劣化ウラン弾供給計画を確証せず(2023年9月5日)

ホワイトハウスは現段階ではウクライナ向けの劣化ウラン弾の供給計画を認めていない。米国家安全保障会議の消息筋がスプートニクからの取材に明らかにした。

9月2日付けのロイター通信は米行政府内の消息筋情報として、これから発表されるキエフ向けの軍事支援パッケージに初めて劣化ウランを装填した徹甲弾が含まれることを明らかにした。ロイターの記事には、劣化ウラン入りの徹甲弾は戦車エイブラハム用の砲弾で、エイブラハムは9月中旬には10

台がウクライナの軍備に加わると書かれている。

米国家安全保障会議の消息筋は、ワシントンが軍需物資を送る意思があることを確認する用意があるかというスプートニクからの問いに自分は「確証することはできない」と回答した。

弾丸の供給は実施間近、より遠のく和平の調整

社会政治調査センター「アспект」のゲオルギー・フョードロフ会長はスプートニクからの取材に対し、米国は実際に劣化ウラン弾をまず供給し、エイブラハム戦車の供給は「ロジスティクス上の困難さ」にかこつけて、ようやく、その後に行われる可能性があると見ている。

「ロシア・米国アソシエーション」の副代表でロシア科学アカデミー、世界経済国際関係大学、軍事政治分析調査プロジェクト・セクターのセルゲイ・オズノビシェフ部長は、米国は弾薬供給計画を進めることで何らかの調整が行われる将来性を退けてしまっていると指摘している。

「米国は積極的にあらゆるウクライナ・キャンペーンを支持しており、武器を供給すると約束してキエフ政権が軍事行為を緩めないよう後押ししている」

これより前、ウクライナ国防相を解任されたアレクセイ・レズニコフ氏はウクライナは 2022 年 2 月から現在までに同盟諸国から 1000 億ドル規模の支援(14 兆 6488 億円。そのうち 600 億ドル、およそ 8 兆 8000 億円が米国から)を受けとったことを明らかにしていた。



●ウクライナ人捕虜、キエフを軍服姿で歩くのが怖かった理由を語る(2023 年 9 月 4 日)

軍人が制服姿でキエフの街を歩くのは危険だ。それは召集令状を配る軍の登録・入隊事務所の職員と間違えられて住民から危害を加えられる恐れがあるからだ。ウクライナ人の捕虜がスプートニクに語った。

また捕虜は、入隊事務所の職員はやって来た人たちを「今回だけ」その場所から解放したり、招集を免除するなどの「サービス」を提供してお金を受け取っているため、軍服を着るのが恥ずかしいと語った。

ウクライナでは 2022 年 2 月 24 日から戒厳令が敷かれ、ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は翌 25 日、総動員令を発出した。戒厳令が出されたことを受け、ウクライナでは 18 歳から 60 歳までの男性の出国が禁止されている。街頭で複数の男性が捕えられ、腕を縛られ、強制的に軍事委員部に連行される様子が動画で公開されている。

ウクライナ当局は最近、動員の対象を拡大した。今後は健康上の理由で限定的に兵役に適さない者も招集される。8 月 30 日、ウクライナ国家安全保障・国防会議のオレクシー・ダニロフ書記は、新たに

承認された動員計画を入隊事務所が 2 か月ごとに実施していると表明した。同氏によると、軍は「必要なだけ動員する」という。

https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20230904/2023_04_09_subtitryplennyobl_egchennoe_ptqnfafe.js0.mp4



●【まとめ】プーチン大統領とエルドアン大統領、1年ぶりに会談(2023年9月4日)

ロシアのプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領が 4 日、ロシア南部ソチで会談した。両首脳は、黒海穀物イニシアチブ(穀物合意)やその他の国際的な問題について議論した。両首脳の会談は 3 時間に及んだ。

醸成を重ね続ける両首脳

プーチン大統領とエルドアン大統領が直接会うのはカザフスタンのアスタナで 2022 年 10 月 13 日にアジア相互協力信頼醸成措置会議の場で会談して以来、約 1 年ぶり。なお、エルドアン大統領がロシアを訪問するのは 2022 年 8 月 5 日以来、1 年以上ぶり。前回もソチでプーチン大統領と会談した。

プーチン大統領は会談の冒頭、次のように述べた。

「我われはずいぶん前に会談について合意した。関係発展のスピードは維持されており、取引高もプラスの傾向にある」

またプーチン大統領は「穀物合意」について、ロシア政府は交渉の扉を開いていると述べた。

エルドアン大統領は、ロシアがトルコで発生した森林火災の消火活動を支援したことに對してプーチン大統領に謝意を表した。ロシアは消火活動のために Be-200 水陸両用機 2 機を派遣した。

またエルドアン大統領は、トルコとロシアの中央銀行総裁もソチに到着したことを指摘した。

「(両国の中央銀行総裁は)ここソチで個別の会談を行う。両国の貿易関係において、これは自国通貨での取引にとって重要な一歩となるだろう」

両首脳は、原子力分野における協力の重要性を指摘した。プーチン大統領は、トルコ初となるアックユ原子力発電所の露土共同プロジェクトは計画通りに進んでおり、1号機は2024年中に稼働する予定だと述べた。エルドアン大統領は、双方はトルコで 2 番目の原発をスィノプに建設することについて合意に達することができると指摘した。

プーチン、エルドアン両大統領の会談結果

プーチン大統領はロシアとトルコの二国間関係は全ての方向で拡大しており、今日の会談も成功裡に終了したとする声明を表した。

プーチン大統領は、トルコとロシアの間の決済では国家通貨を使用する傾向が現れており、ドルやユーロによる決済は減少していると語っている。

プーチン大統領は、ロシアは今までも、この先も信用のあついで、責任あるガス供給国であり続け、今後もトルコ及び第三国へのガス供給を保証する構えだと語った。

プーチン大統領は、エルドアン大統領との会談ではウクライナ情勢および穀物取引に大きな注意が払われたと指摘した。プーチン大統領によれば、西側諸国は、穀物取引に対するロシアの義務の履行を妨害し続けている。プーチン大統領はまた、ロシア連邦が穀物回廊の安全を確保している一方で、相手側は人道的回廊をテロ攻撃に利用していたことを想起した。

「西側諸国は穀物取引の人道的性格のことで我々を欺いた」

プーチン大統領は、ロシアは穀物取引を再開する用意があり、合意内容が全てが履行され次第、直ちにこれを再開すると述べた。



●アニメから戦隊モノまで モスクワでアジア文化の祭典が開催(2023年9月4日)

モスクワでは2日から3日にかけて、毎年恒例となっているアジア文化の祭典「Isekai Fest」が開催された。会場には日本の漫画やアニメ、韓国ドラマやK-popなどのファンが大勢集結。グッズ販売やドラマのプレミア試写会、コスプレファッションショーなどが開催され、連日盛り上がりを見せた。2日間の会場の様子を、スポーツニクが写真でお伝えする。



●ロシアの 4 地域におけるドローン攻撃の試みは失敗＝露国防省(2023 年 9 月 5 日)

現地時間の深夜から 5 日の朝にかけ、ウクライナがロシア連邦内の標的を攻撃しようとしたが、失敗に終わった、と露国防省が発表した。

深夜、モスクワ時間午前 3 時頃、(日本時間午前 9 時頃)、防空システムはカルーガ地方上空でドローンを破壊した。

朝、モスクワ州イストラ地区上空で、防空システムがドローンを破壊した。モスクワのソビャーニン市長によると、負傷者はいなかったが、破片が落下した結果、家財が損壊した。

露国防省によると、今朝、ドローンはトヴェリ地方上空でも迎撃された。

ソビャーニン氏によると、これらの 3 機のドローンは全てモスクワ方向に向かっていった。

また、今朝はクリミア半島においても、ウクライナのドローンを常時待機中の防空システムが破壊した。



●岸田首相「日中会談は未定」ASEAN 会議へ出発(2023 年 9 月 5 日)

岸田文雄首相は 5 日、東南アジア諸国連合(ASEAN)関連首脳会議が開かれるインドネシアに向け、政府専用機で羽田空港を出発した。

出発前に官邸で記者団の取材に応じ、東京電力福島第 1 原発処理水の海洋放出に反発する中国の李強首相と首脳会議に合わせて個別に会談する可能性に関し「中国との対面の会談は決まっていない状況だ」と語った。

処理水放出を巡り、一連の会議で各国に理解を要請する考えも示した。「透明性を持って国際原子力機関(IAEA)と協力しながら取り組んでいる。理解が得られるよう説明を尽くしたい」と述べた。



●露航空機、クリミアに向かっていた米国製のウクライナ高速艇 4 隻を破壊(2023 年 9 月 4 日)

ロシアの航空機が黒海でウクライナ軍上陸部隊が乗った米国製ウィラード・シー・フォース高速艇 4 隻を破壊した。ロシア国防省が 4 日、発表した。

国防省によると、この軍用高速艇はクリミア西部タルハント岬の方向に向かっていった。

またこれに先立ち、ロシア国防省は、同日モスクワ時間午前 1 時(日本時間午前7時)ごろ、ウクライナが航空機型無人航空機2機でロシア領内の施設に対する攻撃を試みたが阻止されたと発表した。クリミア半島近くの黒海上空とクルスク州の上空で防空システムがそれぞれ無人航空機を撃墜した。

ウクライナ軍はこれまでもクリミアへの上陸を試みている。8 月 30 日には黒海で黒海艦隊の航空機が合わせて最大 50 人のウクライナ軍上陸部隊を乗せた軍用高速艇 4 隻を破壊した。同月 22 日にはロシア軍の戦闘機 Su30SM がウクライナの偵察艇 2 隻を発見し、撃破した。



●【解説】汚職それとも反攻失敗？ウクライナ国防相交代は何と関係しているのか 西側メディアの反応(2023 年 9 月 4 日)

ウクライナのゼレンスキー大統領は 3 日、同国のレズニコフ国防相を交代させると発表した。ゼレンスキー氏は「国防省は新しいアプローチや軍、社会全体との別の協力形態を必要としている」と述べた。同氏は後任に国有財産基金のルステム・ウメロフ総裁を充てるとしている。

レズニコフ氏は 3 日、最高会議(議会)に辞表を提出したことを明らかにし、その写真を投稿した。

犯人探し

西側メディアは国防相交代のニュースに反応した。米ニューヨーク・タイムズ(NYT)はウクライナ大統領府の関係筋を引用し、ロシアとの戦争が長引く中でウクライナには新しいアプローチが必要だと報じた。匿名の関係者によると、このような「変動」は軍事契約を巡る汚職スキャンダルと関係している可能性もあるという。NYT は、約 10 億ドル相当の兵器が契約で指定された期限までに納入されず、一部は何か月も納入が遅れたと報じている。

ドイツ紙フランクフルター・ノイエ・プレスに寄稿された記事では、レズニコフ氏の交代はずいぶん前から予想されていたとし、相次ぐスキャンダルにもかかわらずレズニコフ氏は辞任しようとしなかったと述べられている。記事の執筆者たちは、同氏はゼレンスキー氏に要求されなければ辞任するつもりはなかったが、ゼレンスキー氏は「反転攻勢の真っ最中により若い政治家をレズニコフ氏のポストに就かせる」ために同氏を交代させたと指摘している。

ウクライナ国防省は米国防総省ではない

英紙フィナンシャル・タイムズの評論家たちは、国防相を交代させて後任にウメロフ氏を起用するこ

とで西側諸国からの安定した兵器供与を維持しながらウクライナ国防省を「整理整頓」することが可能になるという見方を示している。これは軍への人員および装備品の提供を主な任務とする同省にとって重要だという。

米ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)によると、ウクライナ国防相は、特に戦時において、例えば米国防長官のような権限を有しておらず、ウクライナ国防相の権限は米国防長官のそれにははるかに及ばない。したがって同紙は、レズニコフ氏の交代が戦場に変化をもたらすことはおそくないだろうという見方を示している。

ウクライナ国防相に起用されるルステム・ウメロフ氏とは誰なのか？

ルステム・ウメロフ氏は 1982 年生まれ。ウクライナで専門分野「金融と融資」に関する高等教育を受けた。軍事教育は受けておらず、兵役経験もない。

同氏は 2013 年に投資会社 ASTEM とそのファンド ASTEM Foundation を設立した。ASTEM は、投資家から集めた資金を通信、情報テクノロジー、インフラ分野で運用している。

ウメロフ氏は特別軍事作戦が始まった 2022 年 2 月にロシアと交渉を行うウクライナ側のグループに加わった。2022 年 9 月 7 日からはウクライナの国家財産基金(国有財産の民営化、リース、使用、収用、接收の分野で国の政策を実行し、国有財産の管理を行っている)の総裁を務めている。



●ウクライナのクリミア奪還の決意はさらに恐ろしい結果をもたらす可能性がある＝西側メディア(2023年9月4日)

ウクライナのゼレンスキー大統領の何としてでもクリミアを取り戻すという決意はすでに恐ろしい結果をもたらしており、紛争敗北を含む新たな結果を引き起こす可能性がある。米ウェブサイト Responsible Statecraft が報じた。

Responsible Statecraft は、ウクライナ軍はクリミア奪還にはほど遠く、おそらく達成は不可能という見方を示し、現在、西側のアナリストらは現行の反転攻勢の失敗について広く議論しており、紛争は長期にわたる消耗戦となって、ロシアの勝利につながる可能性があるとしている。

記事では、活力を奪われたウクライナ軍は最終的にロシアの反撃にあい、ウクライナは今よりもはるかに大きな領土を失う可能性があるという指摘されている。

NATO 加盟と引き換えにクリミア奪還を断念

軍事史学者で英国軍の情報将校だったフランク・レドウィツジ氏は英紙ガーディアンに対し、西側諸国は NATO 加盟と引き換えにクリミア奪還を断念するようウクライナに提案しようとしていたと語っ

た。軍事面で飛躍的な進展が見られないことや、来たる米大統領選挙などがその理由だという。

レドウィツジ氏によると、NATO はすでにそのようなプロセスを開始した。8 月中旬、NATO のストルテンベルグ事務総長の事務総長室長を務めるスティアン・イエンセン氏は、ウクライナが領土を諦めれば NATO に加盟できる可能性がある」と述べてウクライナ側の反感を買い、その後、謝罪した。一方、これは西側諸国の外交官が NATO 加盟とウクライナの領土を交換する可能性を真剣に検討し始めていることを物語っているという。

メディアは先に、ウクライナのための安全保証について、西側諸国は 2024 年よりも前に合意することはできないと報じた。



●NATO はウクライナ情勢が原因で 2025 年までに崩壊するかもしれない＝米メディア(2023 年 9 月 3 日)

米誌アトランティックは、北大西洋条約機構(NATO)は 2025 年までに崩壊し、国際関係に深刻な影響を与える可能性がある」と報じた。それは、ウクライナ紛争および将来的に米国がロシアのプーチン大統領に接近する可能性によって生じるかもしれないという。

記事を執筆したフィリップス・ペyson・オブライエン氏は、2025 年に NATO が崩壊する可能性がある」と考える主な理由の 1 つは、トランプ前米大統領率いる共和党のポピュリストのグループと同党の残りの人たちとの深い亀裂だとしている。また、欧州の安全保障上の利益も重要な影響を及ぼしているという。

アトランティック誌では、ウクライナ紛争が NATO 崩壊の主な促進剤になると強調されている。米国の 2 大政党の 1 つの有力な派閥がウクライナへの支援提供を支持してないことは、政治的中心が大きく変わり、米国が欧州にとって今までよりも信頼できない同盟国になったことを物語っている。

オブライエン氏は、欧州の指導者たちはホワイトハウスが NATO を破壊し、ロシアのプーチン大統領との接近を目指す場合に備えて計画を立てる時期だとの見方を示している。

英軍退役大佐は先に、NATO はウクライナ勝利の夢を捨てたとの見解を表した。

